

# 福知山市 令和4年度事務事業評価シート

(単位：千円)

## I 事業属性

事業名	商工会議所商工業振興対策支援事業				事業コード	310104					
政策体系	基本政策	8 市民一人ひとりが、時代の変化を先取りし、地域産業の発展に貢献できるまち			政策目標	2 DXを生かした商業・サービス業の活性化					
	施策名	1 商店街や個店の魅力向上支援			施策コード	821					
事業担当	所属	25050000 産業政策部 産業観光課			所属長	森田 成章					
会計情報	款	07 商工費	項	01 商工費	目	02 商工業振興費	会計	01 一般会計	決算付属資料	174	頁
計画期間	開始年度	平成1年度	終了予定年度	令和8年度	関連計画名			R4現在の状況	継続中		
根拠法令等	商工会議所法、商工会及び商工会議所による小規模事業者の支援に関する法律、福知山商工会議所商工業振興対策支援事業補助金交付要領										
事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 国府補助事業 <input checked="" type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> 内部庶務的的事业 <input type="checkbox"/> その他 ( )										
関連事業	商工会商工業対策支援事業										

## II 事業基礎情報

事業目的 (施策実現に向けて事業が果たす役割)	福知山商工会議所が実施する経営指導・相談やセミナーの開催、まちづくりに関する各種事業を支援し、地域商工業の総合的な改善発達を図る。										
対象者	市内商工業者				対象者数	3,842		単位あたりコスト	2.7		
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input checked="" type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> その他 ( )										
委託先・実施主体等	福知山商工会議所										
事業概要 (箇条書き)	福知山商工会議所が実施する商工業振興やまちづくりに関する各種事業に対して補助金を交付。 ・経営発達支援計画による小規模事業者経営支援 ・経営相談窓口 ・商業に関する研修会、講習会の開催 ・新型コロナウイルス感染症の影響を受ける企業への支援情報発信と活用支援 等										
主な支出に係る業務内容と経費	支出に係る主な費目	支出実績(R3)	主な業務内容								
	需用費	624	商工会館エレベーター修繕								
	負担金補助及び交付金	7,670	福知山商工会議所商工業振興対策支援事業補助金								

## III 予算執行状況

区分	R2(評価前年度)	R3(評価年度)	R4(本年度)	R5(要求年度)					
予算情報	① 当初予算	7,670	7,670	9,270	予算編成時記入 (3次公表時)				
	② 補正予算	0	0	0					
	③ 繰越予算	0	0	0					
	前年度繰越	0	0	0					
	次年度繰越	0	0	0					
小計(①～③)	7,670	7,670	9,270						
予算財源内訳	① 一般財源	7,670	7,670	9,270					
	② 国支出金	0	0	0					
	③ 府支出金	0	0	0					
	④ 地方債	0	0	0					
	⑤ その他特財	0	0	0					
決算情報	① 流充用額	0	624						
	② 配当予算	7,670	8,294						
	③ 執行額	7,670	8,294						
	④ 執行率	100.0%	100.0%						
人概工算	① 従事職員数 (正職員 / 非常勤嘱託職員)	0.12 / 0.00	0.25 / 0.00	0.25 / 0.00	0.00 / 0.00				
	② 概算人件費	960	2,000	2,000	0				
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)	8,630	10,294	2,000	0					
主な利用特財 (N-1年度実績値)	特財名称		種類		実績金額		決算付属資料		頁

## IV 業績指標

成果実績 (アウトカム) 実績/目標	指標	単位	R1	R2	R3	R4	最終目標
	組合加入率	%	31 / 35	32 / 35	33 / 35	/ 35	35
活動実績 (アウトプット) 実績/計画	指標	単位	R1	R2	R3	R4	最終目標
	経営改善普及事業経営支援員の相談件数	件	1583 / 1800	2054 / 1800	1351 / 1800	/ 1800	1800
	単位あたりコスト		4.8	3.7	6.1		
	経営改善普及事業個別指導相談	件	91 / 125	86 / 125	80 / 125	/ 125	125
単位あたりコスト		84.3	89.2	103.7			

V 一次評価(事業担当所属内による自己評価)

項目	評価の観点	評価の観点に寄与した取組事項	施策・施策成果指標に対する貢献度
必要性	<ul style="list-style-type: none"> <li>市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か</li> <li>民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か</li> <li>目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か</li> </ul>	<p>福知山商工会議所は1,000余りの事業所が加入している、地域の総合経済団体である。</p> <p>福知山市商工会と連携し、四半期毎に企業業況調査を実施しており、市内事業者の実態・動向・ニーズ・課題等の洗い出しを行い、収集・整理した情報をHPで公開し、事業者が創業や事業計画を作成する際に市場規模や新市場開拓の判断材料として活用できるよう提供している。</p> <p>また、コロナ禍で物産展・商談会等が中止となり、販路拡大等の機会に限られる状況を受け、オンラインによる商談をテーマとしたセミナーを開催するなど、ニーズ・潜在ニーズを的確に捉えた事業を実施した。</p>	<input checked="" type="checkbox"/> 高い
効率性	<ul style="list-style-type: none"> <li>受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か</li> <li>他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか</li> <li>コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか</li> </ul>	<p>地域の総合経済団体である福知山商工会議所の取組を支援することで、多くの事業者を間接的に支援することができている。</p> <p>また、福知山商工会議所では、起業希望者等に本市が実施する補助制度の紹介や、新型コロナウイルス感染症の影響を受ける企業には国・府・市が実施する多様な施策の情報を集約し事業者へ周知・説明いただくなど、他の施策とも連携し、効率化を図ることができている。</p>	<input type="checkbox"/> やや高い <input type="checkbox"/> やや低い <input type="checkbox"/> 低い
有効性	<ul style="list-style-type: none"> <li>成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか</li> <li>活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか</li> <li>先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか</li> </ul>	<p>地域商工業の総合的な改善発達を図る上で、多くの事業者が必要とされ、活用いただける事業を実施しているかを計るアウトカム指標として、福知山商工会議所への加入率は理にかなっており、経済センサスを基に適切に推移を把握している。</p> <p>活動実績としては、コロナ禍によって事業計画作成支援件数が大幅に増加した一方、創業計画や第2創業事業承継計画支援件数が少ない。</p> <p>なお、福知山商工会議所では、金融機関や府内商工会議所、福知山産業支援センター、福知山市商工会等、他の支援機関との連携を通じた支援ノウハウ等の情報交換に取り組みされている。</p>	
定性的な面も含めた自己評価及び現状の課題	<p>地域の総合経済団体としての福知山商工会議所を支援することを通じ、また他の支援施策とも連携することで、効果的かつ効率的に事業者の持続的発展に向けた支援体制を整えることができ、目標数値も概ね達成している。</p> <p>しかしながら、組合員は減少傾向にあり、空き物件を活用した新規開業・創業者や第2創業者を増やし、商店の高齢化・後継者不足による廃業、空き店舗の増加を抑制していくことが課題である。</p>		
改善策	<p>商店街等との協議の場や広報誌等、様々な機会・場・手法を活用し、福知山商工会議所が実施する支援事業や中心市街地空き家・空き店舗等ストックバンク制度の紹介を行うなど、事業周知を積極的に行う。</p>		

VI 二次評価(事業所属外による他部署評価)

事後評価コメント	事業評価実施後に記載(対象事業のみ)
----------	--------------------

VII 評価をふまえた次年度事業方針

方針区分	評価を踏まえた見直し内容
担当課の事業の見直し及び予算要求方針	予算編成に記入(3次公表時)

VIII 予算反映結果

予算反映結果	<input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 予算拡充 <input type="checkbox"/> 予算縮減 <input type="checkbox"/> 他事業を統合 (統合事業名: ) <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 (統合先事業名: )
--------	--

# 福知山市 令和4年度事務事業評価シート

(単位：千円)

## I 事業属性

事業名	商工会商工業振興対策支援事業				事業コード	310105						
政策体系	基本政策	8 市民一人ひとりが、時代の変化を先取りし、地域産業の発展に貢献できるまち			政策目標	2 DXを生かした商業・サービス業の活性化						
	施策名	1 商店街や個店の魅力向上支援			施策コード	821						
事業担当	所属	25050000 産業政策部 産業観光課			所属長	森田 成章						
会計情報	款	07 商工費	項	01 商工費	目	02 商工業振興費		会計	01 一般会計	決算付属資料	174	頁
計画期間	開始年度	平成20年度	終了予定年度	令和8年度	関連計画名				R4現在の状況	継続中		
根拠法令等	商工会法、商工会及び商工会議所による小規模事業者の支援に関する法律、福知山市商工会商工業振興対策支援事業補助金交付要領											
事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 国府補助事業 <input checked="" type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> 内部庶務的的事业 <input type="checkbox"/> その他 ( )											
関連事業	商工会議所商工業対策支援事業											

## II 事業基礎情報

事業目的 (施策実現に向けて事業が果たす役割)	福知山商工会議所が実施する経営指導・相談やセミナーの開催、まちづくりに関する各種事業を支援し、地域商工業の総合的な改善発達を図る。											
対象者	市内商工業者			対象者数	3,842		単位あたりコスト	2.7				
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input checked="" type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> その他 ( )											
委託先・実施主体等	福知山市商工会											
事業概要 (箇条書き)	福知山市商工会が実施する商工業振興やまちづくりに関する各種事業に対して補助金を交付。 ・経営発達支援計画による小規模事業者経営支援 ・経営相談窓口 ・商業に関する研修会、講習会の開催 ・新型コロナウイルス感染症の影響を受ける企業への支援情報発信と活用支援 等											
主な支出に係る 業務内容と経費	支出に係る主な費目	支出実績(R3)		主な業務内容								
	負担金補助及び交付金	8,400		福知山市商工会商工業振興対策支援事業補助金								

## III 予算執行状況

区分	R2(評価前年度)	R3(評価年度)	R4(本年度)	R5(要求年度)		
予算情報	① 当初予算	8,400	8,400	8,400	予算編成時記入 (3次公表時)	
	② 補正予算	0	0	0		
	③ 繰越予算	0	0	0		
	前年度繰越	0	0	0		
	次年度繰越	0	0	0		
	小計(①～③)	8,400	8,400	8,400		
予算財源内訳	① 一般財源	8,400	8,400	8,400		
	② 国支出金	0	0	0		
	③ 府支出金	0	0	0		
	④ 地方債	0	0	0		
	⑤ その他特財	0	0	0		
決算情報	① 流充用額	0	0			
	② 配当予算	8,400	8,400			
	③ 執行額	8,400	8,400			
	④ 執行率	100.0%	100.0%			
人概 工算	① 従事職員数 (正職員 / 非常勤嘱託職員)	0.12 / 0.00	0.23 / 0.00	0.23 / 0.00	0.00 / 0.00	
	② 概算人件費	960	1,840	1,840	0	
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)	9,360	10,240	1,840	0		
主な利用特財 (N-1年度実績値)	特財名称	種類		実績金額	決算付属資料	頁

## IV 業績指標

成果実績 (アウトカム) 実績/目標	指標	単位	R1	R2	R3	R4	最終目標
	組合加入率	%	75 / 75	79 / 75	82 / 75	/ 75	75
活動実績 (アウトプット) 実績/計画	指標	単位	R1	R2	R3	R4	最終目標
	巡回支援件数	件	2461 / 3000	1873 / 3000	2820 / 3000	/ 3000	3000
	単位あたりコスト		3.4	4.5	3.0		
	窓口支援・創業支援の件数	件	622 / 890	1271 / 890	1044 / 890	/ 890	890
単位あたりコスト		13.5	6.6	8.0			

V 一次評価(事業担当所属内による自己評価)

項目	評価の観点	評価の観点に寄与した取組事項	施策・施策成果指標に対する貢献度
必要性	<ul style="list-style-type: none"> <li>市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か</li> <li>民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か</li> <li>目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か</li> </ul>	<p>福知山市商工会は、主として旧3町(三和・夜久野・大江)区域の事業者を対象とし、当該地域における総合経済団体である。</p> <p>福知山商工会議所と連携し、四半期毎に企業業況調査を実施しており、市内事業者の実態・動向・ニーズ・課題等の洗い出しを行い、収集・整理した情報をHPで公開し、金融機関の調査レポート等も活用し、巡回・窓口相談において、調査結果やその活用方法を提案しながら提供している。</p> <p>インボイス制度が令和5年に施行されるにあたって対策講習会を開催されるほか、SDGsと絡めたセミナーを開催されるなど、ニーズ・潜在ニーズを的確に捉えた事業を実施した。</p>	<input checked="" type="checkbox"/> 高い
効率性	<ul style="list-style-type: none"> <li>受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か</li> <li>他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか</li> <li>コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか</li> </ul>	<p>地域の総合経済団体である福知山市商工会の取組を支援することで、多くの事業者を間接的に支援することができている。</p> <p>また、福知山市商工会では、起業希望者等に本市が実施する補助制度の紹介や、新型コロナウイルス感染症の影響を受ける企業には国・府・市が実施する多様な施策の情報を集約し事業者へ周知・説明いただくなど、他の施策とも連携し、効率化を図ることができている。</p>	<input type="checkbox"/> やや高い <input type="checkbox"/> やや低い <input type="checkbox"/> 低い
有効性	<ul style="list-style-type: none"> <li>成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか</li> <li>活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか</li> <li>先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか</li> </ul>	<p>地域商工業の総合的な改善発達を図る上で、多くの事業者が必要とされ、活用いただける事業を実施しているかを計るアウトカム指標として、福知山市商工会への加入率は理にかなっており、経済センサスを基に適切に推移を把握している。</p> <p>なお、福知山市商工会では、金融機関や福知山産業支援センター、福知山商工会議所等、他の支援機関との連携を通じた支援ノウハウ等の情報交換に取り組まれている。</p>	
定性的な面も含めた自己評価及び現状の課題	<p>福知山市商工会では、令和3年に福知山市SDGsパートナー制度の認定を受けており、事業者の商品及びサービスの提供・開発、課題解決などにSDGsを意識した取組への支援を推進しており、社会と事業者とが持続的に発展していく事業者支援を実施いただいている。</p> <p>新型コロナウイルス感染症の拡大や頻発する自然災害等により消費者意識や経営環境が大きく変化中、事業を継続をしていくに当たり、事業者に対し事業計画を策定し、評価・検証することで環境変化に柔軟に対応していくことが重要であるため、その必要性を伝え、事業者自らが、仮説を立て実行、検証するPDCAサイクルを回せるようにすることが課題である。</p> <p>また、人口減少や事業者の減少が避けられない状況下において、地域経済を持続的に活性化するためには事業を通じた社会・地域課題解決等のSDGsに対する事業者の意識、ITを活用した販路開拓等が課題である。</p>		
改善策	<p>DXの推進に向けたセミナー参加等により経営支援員の相談・支援能力の向上を図り、事業者のニーズや抱える課題、地域社会を取り巻く課題に対して、的確かつ有効な提案等を行っていただく。</p> <p>また、上記の支援を通じた伴走型支援により、事業者の自律的な取組を促していく。</p>		

VI 二次評価(事業所属外による他部署評価)

事後評価コメント	事業評価実施後に記載(対象事業のみ)
----------	--------------------

VII 評価をふまえた次年度事業方針

方針区分	評価を踏まえた見直し内容
担当課の事業の見直し及び予算要求方針	予算編成に記入(3次公表時)

VIII 予算反映結果

予算反映結果	<input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 予算拡充 <input type="checkbox"/> 予算縮減 <input type="checkbox"/> 他事業を統合 (統合事業名: ) <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 (統合先事業名: )
--------	--

# 福知山市 令和4年度事務事業評価シート

(単位：千円)

## I 事業属性

事業名	商店街等振興事業				事業コード	310107						
政策体系	基本政策	8 市民一人ひとりが、時代の変化を先取りし、地域産業の発展に貢献できるまち			政策目標	2 DXを生かした商業・サービス業の活性化						
	施策名	1 商店街や個店の魅力向上支援			施策コード	821						
事業担当	所属	25050000 産業政策部 産業観光課			所属長	森田 成章						
会計情報	款	07 商工費	項	01 商工費	目	02 商工業振興費		会計	01 一般会計	決算付属資料	174	頁
計画期間	開始年度	平成19年度	終了予定年度	令和8年度	関連計画名	-		R4現在の状況	継続中			
根拠法令等	福知山市商店街等イベント事業補助金、福知山市商店街活性化施設等整備事業補助金、京都府新しい商店街づくり総合支援事業費補助金交付要綱											
事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 国府補助事業 <input checked="" type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> 内部庶務的事业 <input type="checkbox"/> その他 ( )											
関連事業												

## II 事業基礎情報

事業目的 (施策実現に向けて事業が果たす役割)	商店街は古くから「まちの顔」として重要な役割を果たしてきたが、経営者の高齢化や後継者の不在などに起因した空き店舗の増加や来街者の減少により賑わいが失われ、街全体の活力の低下に大きく影響している。地域商業全体を底上げするための取り組みが求められている背景を踏まえ、意欲的に商店街振興事業に取り組む商店街等に対して補助金を交付することにより、商店街や周辺地域の活性化を図る。											
対象者	市内商店街組織及び商業団体			対象者数	10		単位あたりコスト	307.7				
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input checked="" type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> その他 ( )											
委託先・実施主体等	商店街団体等											
事業概要 (箇条書き)	商店街組織、商業者団体等が自発的・自主的に行う事業に対する補助金の交付(福知山市商店街等イベント事業補助金)・1回の事業につき20万円を限度に補助(補助率1/2以内)。1団体年間3回を限度。											
主な支出に係る 業務内容と経費	支出に係る主な費目	支出実績(R3)	主な業務内容									
	負担金補助及び交付金	197	福知山市商店街等イベント事業補助金									

## III 予算執行状況

区分	R2(評価前年度)	R3(評価年度)	R4(本年度)	R5(要求年度)					
予算情報	① 当初予算	1,200	1,426	960	予算編成時記入 (3次公表時)				
	② 補正予算	0	0	0					
	③ 繰越予算	0	0	0					
	前年度繰越	0	0	0					
	次年度繰越	0	0	0					
小計(①～③)	1,200	1,426	960						
予算財源内訳	① 一般財源	600	0	480					
	② 国支出金	0	0	0					
	③ 府支出金	0	233	0					
	④ 地方債	0	0	0					
	⑤ その他特財	600	1,193	480					
決算情報	① 流充用額	0	△ 1,229						
	② 配当予算	1,200	197						
	③ 執行額	213	197						
	④ 執行率	17.8%	100.0%						
人概 工算	① 従事職員数 (正職員 / 非常勤嘱託職員)	0.12 / 0.00	0.36 / 0.00	0.36 / 0.00	0.00 / 0.00				
	② 概算人件費	960	2,880	2,880	0				
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)	1,173	3,077	2,880	0					
主な利用特財 (N-1年度実績値)	特財名称	商店街等振興事業基金繰入	種類	基金繰入金	実績金額	197	決算付属資料	38	頁

## IV 業績指標

成果実績 (アウトカム) 実績/目標	指標	単位	R1	R2	R3	R4	最終目標
		歩行者自転車通行量	人	4052 / 4160	3976 / 4200	3572 / 4200	/ 4200
活動実績 (アウトプット) 実績/計画	指標	単位	R1	R2	R3	R4	最終目標
	イベント実施回数	件	6 / 10	2 / 10	3 / 10	/ 10	10
	単位あたりコスト		174.7	106.5	65.7		
	イベント実施団体数	団体	5 / 10	2 / 10	2 / 10	/ 10	10
	単位あたりコスト		209.6	106.5	98.5		

V 一次評価(事業担当所属内による自己評価)

項目	評価の観点	評価の観点に寄与した取組事項	施策・施策成果指標に対する貢献度
必要性	<ul style="list-style-type: none"> <li>市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か</li> <li>民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か</li> <li>目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か</li> </ul>	<p>商業を活性化するのみならず、街全体の活性化につながる事業であり、その必要性は高い。まちづくり構想福知山においても「商店街、福知山まちづくり株式会社、福知山商工会議所、福知山市商工会などと連携した、各エリア、各個店の誘客と賑わい創出の取組に対する支援」を達成するための事業である。新町商店街が協賛し、11月に約1年ぶりに開催したワンダーマーケットには、コロナ禍でイベントを心待ちにしていた家族連れら約2000人が訪れた。</p>	<input type="checkbox"/> 高い <input checked="" type="checkbox"/> やや高い <input type="checkbox"/> やや低い <input type="checkbox"/> 低い
効率性	<ul style="list-style-type: none"> <li>受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か</li> <li>他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか</li> <li>コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか</li> </ul>	<p>商店街団体が主体的・自発的に商店街の活力、結束、イメージの維持向上と街全体の活力の向上を目的に実施する集客事業を支援するものであり、効率性は高い。</p>	<input type="checkbox"/> やや低い <input type="checkbox"/> 低い
有効性	<ul style="list-style-type: none"> <li>成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか</li> <li>活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか</li> <li>先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか</li> </ul>	<p>R3年度はコロナ禍によりイベントの自粛ムードが広がる状況となったが、2つの商店街団体が対策を講じながら計3回のイベントを実施し、集客、売上げの向上および商店街の活性化に繋がられた。</p>	
定性的な面も含めた自己評価及び現状の課題	<p>一部、40代の理事長に若返りを果たしている商店街団体もあるが、昨今の商店街は会員数の減少や高齢化に伴い、イベントの実施等が難しい状況ではあるが、他団体とも連携しながら一定集客効果があるイベント実施に向けて商店街活動に取り組んでいただく必要がある。</p>		
改善策	<p>イベント事業の経済効果と集客は一時的なものではなく、商店街のイメージ向上や店舗を知ってもらうことによる継続的な売り上げの向上につながるものである。各商店街団体との連絡を密にするとともに、必要により申請の支援等を行い、イベント実施団体及び実施回数の上昇に努める。</p>		

VI 二次評価(事業所属外による他部署評価)

事後評価コメント	事業評価実施後に記載(対象事業のみ)
----------	--------------------

VII 評価をふまえた次年度事業方針

担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分	評価を踏まえた見直し内容
		予算編成に記入(3次公表時)

VIII 予算反映結果

予算反映結果	<input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 予算拡充 <input type="checkbox"/> 予算縮減 <input type="checkbox"/> 他事業を統合 (統合事業名: ) <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 (統合先事業名: )
--------	--

# 福知山市 令和4年度事務事業評価シート

(単位：千円)

## I 事業属性

事業名	小規模企業融資制度事業				事業コード	310118						
政策体系	基本政策	8 市民一人ひとりが、時代の変化を先取りし、地域産業の発展に貢献できるまち			政策目標	2 DXを生かした商業・サービス業の活性化						
	施策名	1 商店街や個店の魅力向上支援			施策コード	821						
事業担当	所属	25050000 産業政策部 産業観光課			所属長	山田 信義						
会計情報	款	07 商工費	項	01 商工費	目	02 商工業振興費		会計	01 一般会計	決算付属資料	174	頁
計画期間	開始年度	平成19年度	終了予定年度	令和8年度	関連計画名				R4現在の状況	継続中		
根拠法令等												
事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input checked="" type="checkbox"/> 国府補助事業 <input checked="" type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> 内部庶務的事業 <input type="checkbox"/> その他 ( )											
関連事業												

## II 事業基礎情報

事業目的 (施策実現に向けて事業が果たす役割)	日々の経営安定を図るために必要とする事業資金を金融機関から借り受ける小規模事業者を支援することで産業の活性化を図り、地域経済の発展に寄与することを目的とする。											
対象者	市内事業者			対象者数	3,842		単位あたりコスト	0.5				
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input checked="" type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> その他 ( )											
委託先・実施主体等												
事業概要 (箇条書き)	(1) 企業者への利子補給 福知山市設備強化利子補給金「通称：マル6」 市内金融機関及び日本政策金融公庫から借り入れた設備資金について6か月分の利子を補給する。 (2) 金融機関への利子補給 京都府の小規模企業おうえん資金の金利0.5%を市が負担することで金融機関が低利で融資を行う。(平成30年3月31日受付終了、現在は支払いのみ)											
主な支出に係る 業務内容と経費	支出に係る主な費目	支出実績(R3)		主な業務内容								
	負担金補助及び交付金	1,038		金融機関への利子補給、企業者への利子補給								

## III 予算執行状況

区分	R2(評価前年度)	R3(評価年度)	R4(本年度)	R5(要求年度)				
予算情報	① 当初予算	3,270	1,530	1,060	予算編成時記入 (3次公表時)			
	② 補正予算	0	0	0				
	③ 繰越予算	0	0	0				
	前年度繰越	0	0	0				
	次年度繰越	0	0	0				
小計(①～③)	3,270	1,530	1,060					
予算財源内訳	① 一般財源	3,270	330	1,060				
	② 国支出金	0	0	0				
	③ 府支出金	0	0	0				
	④ 地方債	0	0	0				
	⑤ その他特財	0	1,200	0				
決算情報	① 流充用額	0	0					
	② 配当予算	3,270	1,530					
	③ 執行額	1,983	1,038					
	④ 執行率	60.6%	67.8%					
人概 工算	① 従事職員数 (正職員 / 非常勤嘱託職員)	0.13 / 0.00	0.12 / 0.00	0.12 / 0.00	0.00 / 0.00			
	② 概算人件費	1,040	960	960	0			
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)	3,023	1,998	960	0				
主な利用特財 (N-1年度実績値)	特財名称	小規模企業融資制度事業(きょうと地域連携交付金)	種類	商工費府補助金	実績金額	454	28	
		小規模企業融資制度事業基金繰入金		基金繰入金		493	38	
						決算付属資料	38	頁

## IV 業績指標

成果実績 (アウトカム) 実績/目標	指標	単位	R1	R2	R3	R4	最終目標
	設備資金融資件数	件	10 / 42	2 / 42	10 / 42	/ 42	42
活動実績 (アウトプット) 実績/計画	指標	単位	R1	R2	R3	R4	最終目標
	利子補給件数	件	16 / 130	10 / 20	6 / 20	/ 20	20
	単位あたりコスト		181.5	198.3	173.0		
	単位あたりコスト		/	/	/	/	

V 一次評価(事業担当所属内による自己評価)

項目	評価の観点	評価の観点に寄与した取組事項	施策・施策成果指標に対する貢献度
必要性	<ul style="list-style-type: none"> <li>市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か</li> <li>民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か</li> <li>目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か</li> </ul>	<p>利子補給制度は、民間事業者が行えず、資金繰りの円滑化には有効な手段である。平成30年度から設備投資を行う融資に限定しており、企業の成長、安定化が見込めるだけでなく、労働力不足の解消や生産性の向上に寄与している。</p>	<input type="checkbox"/> 高い
効率性	<ul style="list-style-type: none"> <li>受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か</li> <li>他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか</li> <li>コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか</li> </ul>	<p>利子補給制度については、コスト負担は小さいが、設備投資による税収増加が見込めることから妥当であると判断できる。</p>	<input checked="" type="checkbox"/> やや高い <input type="checkbox"/> やや低い <input type="checkbox"/> 低い
有効性	<ul style="list-style-type: none"> <li>成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか</li> <li>活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか</li> <li>先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか</li> </ul>	<p>設備投資件数及び設備投資額を把握するようにしたことから利子補給効果が適切に把握できるようになった。</p>	
定性的な面も含めた自己評価及び現状の課題	<p>市内の全金融機関の融資が対象となっており、市内全域の小規模事業者の支援に繋がっている。小規模事業者の設備投資を支援することで、高齢化に伴う人手不足の解消や働き方改革実現のための生産性向上及びAI・IoT化の促進にも繋がる制度となっており、事業の継続や拡大、福知山市の増収に繋がる制度である。</p>		
改善策	<p>事業者の積極的な設備投資のきっかけとなるよう、申込窓口となる金融機関へのさらなる制度周知を図るため、創業支援等事業ネットワーク会議において制度案内を行う。</p>		

VI 二次評価(事業所属外による他部署評価)

事後評価コメント	事業評価実施後に記載(対象事業のみ)
----------	--------------------

VII 評価をふまえた次年度事業方針

担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分	評価を踏まえた見直し内容

VIII 予算反映結果

予算反映結果	<input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 予算拡充 <input type="checkbox"/> 予算縮減
	<input type="checkbox"/> 他事業を統合 (統合事業名: ) <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 (統合先事業名: )



# 福知山市 令和4年度事務事業評価シート

(単位：千円)

## I 事業属性

事業名	災害復旧融資特別支援事業				事業コード	310119						
政策体系	基本政策	8 市民一人ひとりが、時代の変化を先取りし、地域産業の発展に貢献できるまち			政策目標	2 DXを生かした商業・サービス業の活性化						
	施策名	1 商店街や個店の魅力向上支援			施策コード	821						
事業担当	所属	25050000 産業政策部 産業観光課			所属長	山田 信義						
会計情報	款	07 商工費	項	01 商工費	目	02 商工業振興費		会計	01 一般会計	決算付属資料	176	頁
計画期間	開始年度	平成25年度	終了予定年度	令和5年度	関連計画名				R4現在の状況	継続中		
根拠法令等												
事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 国府補助事業 <input checked="" type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> 内部庶務的事業 <input type="checkbox"/> その他 ( )											
関連事業												

## II 事業基礎情報

事業目的 (施策実現に向けて事業が果たす役割)	平成30年7月豪雨災害による災害復旧のための融資を受けた市内の中小企業者に対し必要となる利子補給を行い、事業再建のために必要となる利子補給を行い、資金繰りの円滑化及び経営の安定化を図る。											
対象者	市内事業所			対象者数	17		単位あたりコスト	99.7				
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input checked="" type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> その他 ( )											
委託先・実施主体等												
事業概要 (箇条書き)	京都府の実施する災害対策緊急資金、他災害復旧に要する融資を利用する中小企業者に対し、融資実行から12回目までの支払利子相当額、13回目から60回目までの支払利子相当額の2分の1の額を補給する。											
主な支出に係る 業務内容と経費	支出に係る主な費目	支出実績(R3)	主な業務内容									
	負担金補助及び交付金	735	H30年7月豪雨災害融資									

## III 予算執行状況

区分	R2(評価前年度)	R3(評価年度)	R4(本年度)	R5(要求年度)					
予算情報	① 当初予算	1,322	1,036	730	予算編成時記入 (3次公表時)				
	② 補正予算	0	0	0					
	③ 繰越予算	0	0	0					
	前年度繰越	0	0	0					
	次年度繰越	0	0	0					
小計(①～③)	1,322	1,036	730						
予算財源内訳	① 一般財源	1,322	1,036	730					
	② 国支出金	0	0	0					
	③ 府支出金	0	0	0					
	④ 地方債	0	0	0					
	⑤ その他特財	0	0	0					
決算情報	① 流充用額	0	0						
	② 配当予算	1,322	1,036						
	③ 執行額	1,105	735						
	④ 執行率	83.6%	70.9%						
人概 工算	① 従事職員数 (正職員 / 非常勤嘱託職員)	0.18 / 0.00	0.12 / 0.00	0.12 / 0.00	0.00 / 0.00				
	② 概算人件費	1,440	960	960	0				
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)	2,545	1,695	960	0					
主な利用特財 (N-1年度実績値)	特財名称		種類		実績金額		決算付属資料		頁

## IV 業績指標

成果実績 (アウトカム) 実績/目標	指標	単位	R1	R2	R3	R4	最終目標
	受給者の事業継続割合	%	/	/	/	/	/ 100
活動実績 (アウトプット) 実績/計画	指標	単位	R1	R2	R3	R4	最終目標
	利子補給金額	千円	8199 / 13030	1105 / 1322	716 / 1036	/ 730	-
	単位あたりコスト		-	-	1.0		
	交付件数	件	128 / 140	22 / 23	15 / 23	/ 17	-
単位あたりコスト		-	-	49.0			

V 一次評価(事業担当所属内による自己評価)

項目	評価の観点	評価の観点に寄与した取組事項	施策・施策成果指標に対する貢献度
必要性	<ul style="list-style-type: none"> <li>市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か</li> <li>民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か</li> <li>目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か</li> </ul>	平成30年7月豪雨災害により被災した中小企業について、経営再建に向けて長期的に支援する必要がある。	<input checked="" type="checkbox"/> 高い
効率性	<ul style="list-style-type: none"> <li>受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か</li> <li>他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか</li> <li>コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか</li> </ul>	毎年同時期に申請書を送付しているため、事業所にも申請事務があることを理解してもらっており、スムーズに行っている。	<input type="checkbox"/> やや高い <input type="checkbox"/> やや低い <input type="checkbox"/> 低い
有効性	<ul style="list-style-type: none"> <li>成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか</li> <li>活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか</li> <li>先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか</li> </ul>	長期的な利子補給を実施することで資金繰りの安定化を図っている。	
定性的な面も含めた自己評価及び現状の課題	繰上げ返済(完済)により利子補給額、件数は着実に減少している。		
改善策			

VI 二次評価(事業所属外による他部署評価)

事後評価コメント	事業評価実施後に記載(対象事業のみ)
----------	--------------------

VII 評価をふまえた次年度事業方針

担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分	評価を踏まえた見直し内容
		予算編成に記入(3次公表時)

VIII 予算反映結果

予算反映結果	<input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 予算拡充 <input type="checkbox"/> 予算縮減 <input type="checkbox"/> 他事業を統合 (統合事業名: ) <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 (統合先事業名: )
--------	--

# 福知山市 令和4年度事務事業評価シート

(単位：千円)

## I 事業属性

事業名	福知山市事業者チャレンジおうえん事業				事業コード	310178						
政策体系	基本政策	8 市民一人ひとりが、時代の変化を先取りし、地域産業の発展に貢献できるまち			政策目標	2 DXを生かした商業・サービス業の活性化						
	施策名	1 商店街や個店の魅力向上支援			施策コード	821						
事業担当	所属	25050000 産業政策部 産業観光課			所属長	山田 信義						
会計情報	款	07 商工費	項	01 商工費	目	02 商工業振興費		会計	01 一般会計	決算付属資料	176	頁
計画期間	開始年度	令和2年度	終了予定年度	令和3年度	関連計画名				R4現在の状況	廃止/休止		
根拠法令等												
事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input checked="" type="checkbox"/> 国府補助事業 <input type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> 内部庶務的事業 <input type="checkbox"/> その他 ( )											
関連事業												

## II 事業基礎情報

事業目的 (施策実現に向けて事業が果たす役割)	新型コロナウイルスの感染拡大により、事業に影響を受けている市内の中小企業や起業予定者に対して、コロナ禍の影響を乗り越えるため、感染防止との両立を図りつつ、社会情勢の変化に対応する取組に対して支援を行う。											
対象者	市内中小事業者等			対象者数	920		単位あたりコスト	56.1				
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input checked="" type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> その他 ( )											
委託先・実施主体等	福知山商工会議所											
事業概要 (箇条書き)	業種・業態転換等のコロナ禍における社会情勢の変化に対応するため、設備導入等を実施する事業者に対し助成金を支給(補助上限1,125千円、事業費上限1,500千円、4分の3補助)											
主な支出に係る 業務内容と経費	支出に係る主な費目	支出実績(R3)		主な業務内容								
	委託料	51,010		業務委託								

## III 予算執行状況

区分	R2(評価前年度)	R3(評価年度)	R4(本年度)	R5(要求年度)						
予算情報	① 当初予算	0	0	0						
	② 補正予算	72,590	0	0						
	③ 繰越予算	△ 54,590	54,590	0						
	前年度繰越	0	54,590	0						
	次年度繰越	△ 54,590	0	0						
小計(①～③)	18,000	54,590	0	予算編成時記入 (3次公表時)						
予算財源内訳	① 一般財源	0	0		0					
	② 国支出金	18,000	54,590		0					
	③ 府支出金	0	0		0					
	④ 地方債	0	0		0					
	⑤ その他特財	0	0		0					
決算情報	① 流充用額	0	0							
	② 配当予算	18,000	54,590							
	③ 執行額	16,514	51,010							
	④ 執行率	91.7%	93.4%							
人概 工算	① 従事職員数 (正職員 / 非常勤嘱託職員)	0.20 / 0.00	0.08 / 0.00	0.00 / 0.00	0.00 / 0.00					
	② 概算人件費	1,600	640	0	0					
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)	18,114	51,650	0	0						
主な利用特財 (N-1年度実績値)	特財名称	福知山市事業者チャレンジおうえん事業 (地方創生臨時交付金)		種類	商工費国庫補助金	実績金額	51,010	決算付属資料	20	頁

## IV 業績指標

成果実績 (アウトカム) 実績/目標	指標	単位	R1	R2	R3	R4	最終目標	
	業種業態転換事業者数	件	/	10	10	44	0	0
活動実績 (アウトプット) 実績/計画	指標	単位	R1	R2	R3	R4	最終目標	
	助成事業者数	件	/	13	10	51	0	0
	単位あたりコスト		/	1270.3	1000.2			
	単位あたりコスト		/					

V 一次評価(事業担当所属内による自己評価)

項目	評価の観点	評価の観点に寄与した取組事項	施策・施策成果指標に対する貢献度
必要性	<ul style="list-style-type: none"> <li>市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か</li> <li>民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か</li> <li>目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か</li> </ul>	<p>コロナ禍が長期化する中で、事業者の業種業態転換費用を補助し、促すことは、今後の事業の継続のために必要であった。</p>	<input checked="" type="checkbox"/> 高い
効率性	<ul style="list-style-type: none"> <li>受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か</li> <li>他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか</li> <li>コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか</li> </ul>	<p>商工会議所に委託することで、事業者の指導・支援と助成金交付事務を一体的に実施することで、事業者の効果的な業種業態転換を促すことができた。</p>	<input type="checkbox"/> やや高い <input type="checkbox"/> やや低い <input type="checkbox"/> 低い
有効性	<ul style="list-style-type: none"> <li>成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか</li> <li>活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか</li> <li>先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか</li> </ul>	<p>コロナ禍のきびしい状況から、新たな方法により事業の継続を見出すことは事業者にとっては必須であり、2回目の募集にも70件の応募があった。非接触型決済の導入も含めて事業者の今後の事業活動のための支援に有効であった。</p>	
定性的な面も含めた自己評価及び現状の課題	業種業態転換を促進することで、長期化するコロナ禍における事業者の事業継続及び発展に資する取組となった。		
改善策			

VI 二次評価(事業所属外による他部署評価)

事後評価コメント	事業評価実施後に記載(対象事業のみ)
----------	--------------------

VII 評価をふまえた次年度事業方針

担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分	評価を踏まえた見直し内容
		<p>予算編成に記入 (3次公表時)</p>

VIII 予算反映結果

予算反映結果	<input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 予算拡充 <input type="checkbox"/> 予算縮減 <input type="checkbox"/> 他事業を統合 (統合事業名: ) <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 (統合先事業名: )
--------	--

# 福知山市 令和4年度事務事業評価シート

(単位：千円)

## I 事業属性

事業名	福知山市時短要請協力金対象外事業者応援給付金事業				事業コード	310179						
政策体系	基本政策	8 市民一人ひとりが、時代の変化を先取りし、地域産業の発展に貢献できるまち			政策目標	2 DXを生かした商業・サービス業の活性化						
	施策名	1 商店街や個店の魅力向上支援			施策コード	821						
事業担当	所属	25050000 産業政策部 産業観光課			所属長	山田 信義						
会計情報	款	07 商工費	項	01 商工費	目	02 商工業振興費		会計	01 一般会計	決算付属資料	176	頁
計画期間	開始年度	令和2年度	終了予定年度	令和3年度	関連計画名				R4現在の状況	廃止/休止		
根拠法令等												
事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input checked="" type="checkbox"/> 国府補助事業 <input type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> 内部庶務的事業 <input type="checkbox"/> その他 ( )											
関連事業												

## II 事業基礎情報

事業目的 (施策実現に向けて事業が果たす役割)	国が1月13日に緊急事態宣言を発令し、京都府全域へ飲食店に対する営業時間の短縮が外出自粛が要請され、特措法に基づく時短要請の対象事業者においては協力が支給される。特措法による時短要請の対象から外れる中小企業者・個人事業主に対して給付金を支給することで、市内事業者の経営を支援する。											
対象者	市内中小事業者等			対象者数	920		単位あたりコスト	297.6				
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input checked="" type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> その他 ( )											
委託先・実施主体等												
事業概要 (箇条書き)	【支給額】 ・法人及び団体 50万円・個人事業主 30万円 【支給要件】 次のいずれかに該当するもの (1) 新型コロナウイルス感染症の影響により、1か月当たりの売上金額が令和3年1月から令和3年3月までの間のいずれかの月(以下「対象月」という。)において、前年又は前々年同月比で30パーセント以上減少し、かつ、令和元年度の決算期における売上金額の月平均額と比べて減少が認められる者 (2) 対象月が創業後1年に満たない期間にある場合は、創業から対象月の前月までの売上金額の月平均額に対して30パーセント以上の減少が認められる者											
主な支出に係る 業務内容と経費	支出に係る主な費目	支出実績(R3)		主な業務内容								
	需用費	98		消耗品費								
	役務費	101		郵送料								
	負担金補助及び交付金	271,500		給付金								

## III 予算執行状況

区分	R2(評価前年度)		R3(評価年度)		R4(本年度)		R5(要求年度)			
予算情報	① 当初予算	386,631		0		0		予算編成時記入 (3次公表時)		
	② 補正予算	0		0		0				
	③ 繰越予算	△ 274,848		274,848		0				
	前年度繰越	0		274,848		0				
	次年度繰越	△ 274,848		0		0				
小計(①～③)	111,783		274,848		0					
予算財源内訳	① 一般財源	56		35,826		0				
	② 国支出金	111,727		239,022		0				
	③ 府支出金	0		0		0				
	④ 地方債	0		0		0				
	⑤ その他特財	0		0		0				
決算情報	① 流充用額	0		0						
	② 配当予算	111,783		274,848						
	③ 執行額	111,748		271,699						
	④ 執行率	100.0%		98.9%						
人概工算	① 従事職員数 (正規員 / 非常勤嘱託職員)	0.45 / 0.00	0.25 / 0.05	0.00 / 0.00	0.00 / 0.00					
	② 概算人件費	3,600		2,125		0		0		
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)	115,348		273,824		0		0			
主な利用特財 (N-1年度実績値)	特財名称	福知山市時短要請協力金対象外事業者応援給付金事業(地方創生臨時交付金)		種類	商工費国庫補助金		256,224		20	頁
		実績金額			決算付属資料					

## IV 業績指標

成果実績 (アウトカム) 実績/目標	指標	単位	R1	R2	R3	R4	最終目標
	受給者の事業継続割合	%	/	100	/ 100	100 / 100	/ 0
活動実績 (アウトプット) 実績/計画	指標	単位	R1	R2	R3	R4	最終目標
	給付件数	件	/	307 / 920	725 / 613	/ 0	0
	単位あたりコスト		/	364.0	374.8	/	
	単位あたりコスト		/	/	/	/	

V 一次評価(事業担当所属内による自己評価)

項目	評価の観点	評価の観点に寄与した取組事項	施策・施策成果指標に対する貢献度
必要性	<ul style="list-style-type: none"> <li>市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か</li> <li>民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か</li> <li>目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か</li> </ul>	新型コロナウイルス感染症拡大に伴う経営状況の悪化に対し、素早く支援を実施する必要があり、令和3年2月より受付を開始して、早期支援を行った。	<input checked="" type="checkbox"/> 高い
効率性	<ul style="list-style-type: none"> <li>受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か</li> <li>他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか</li> <li>コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか</li> </ul>	担当職員の増員により、申請後1か月以内の支給を行った支払い事務担当課とも協力し、迅速に対応した。	<input type="checkbox"/> やや高い <input type="checkbox"/> やや低い <input type="checkbox"/> 低い
有効性	<ul style="list-style-type: none"> <li>成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか</li> <li>活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか</li> <li>先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか</li> </ul>	30%以上の売り上げ減少が確認された事業者に対し支給している。想定件数は直近経済センサスから算出しており、府の時短要請協力の対象外となる事業者を支援することで、市内の中小企業者を支援している。	
定性的な面も含めた自己評価及び現状の課題	コロナ禍において早期に取り組むことで、売上が減少した事業者の事業継続を支援することができた。できる限りはやく給付することができるように、庁内の体制も連携をとることができた。なお、申請にあたっての情報不足や記載ミスなど多かったこともあるので、可能な限り申請者に負担をかけない方法を考えたい。		
改善策	申請書の記載については、一定の情報を入力すれば、必要な数字が自動算出されるような様式を準備するなど申請者に負担をかけない方法を提示できるようにする。		

VI 二次評価(事業所属外による他部署評価)

事後評価コメント	事業評価実施後に記載(対象事業のみ)
----------	--------------------

VII 評価をふまえた次年度事業方針

担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分	評価を踏まえた見直し内容
		予算編成に記入(3次公表時)

VIII 予算反映結果

予算反映結果	<input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 予算拡充 <input type="checkbox"/> 予算縮減 <input type="checkbox"/> 他事業を統合 (統合事業名: ) <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 (統合先事業名: )
--------	--

# 福知山市 令和4年度事務事業評価シート

(単位：千円)

## I 事業属性

事業名	緊急事態措置協力金市町村負担事業				事業コード	310181						
政策体系	基本政策	8 市民一人ひとりが、時代の変化を先取りし、地域産業の発展に貢献できるまち			政策目標	2 DXを生かした商業・サービス業の活性化						
	施策名	1 商店街や個店の魅力向上支援			施策コード	821						
事業担当	所属	25050000 産業政策部 産業観光課			所属長	山田 信義						
会計情報	款	07 商工費	項	01 商工費	目	02 商工業振興費		会計	01 一般会計	決算付属資料	176	頁
計画期間	開始年度	令和2年度	終了予定年度	令和3年度	関連計画名				R4現在の状況	廃止/休止		
根拠法令等												
事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input checked="" type="checkbox"/> 国府補助事業 <input type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> 内部庶務的事業 <input type="checkbox"/> その他 ( )											
関連事業												

## II 事業基礎情報

事業目的 (施策実現に向けて事業が果たす役割)	京都府が実施する飲食店等に対する新型コロナウイルス感染症拡大防止のための時短要請に係る「京都府緊急事態措置協力金」の支給に要した委託費等の経費の一部を負担することを通じて、市内事業者の経営を支援する。											
対象者	市内中小企業等			対象者数	1,175		単位あたりコスト	9.1				
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> その他 ( )											
委託先・実施主体等												
事業概要 (箇条書き)	・京都府が実施する「京都府緊急事態措置協力金」に係る京都府への市町村負担金											
主な支出に係る業務内容と経費	支出に係る主な費目	支出実績(R3)		主な業務内容								
	負担金補助及び交付金	10,621		京都府緊急事態措置協力金市町村負担金								

## III 予算執行状況

区分	R2(評価前年度)	R3(評価年度)	R4(本年度)	R5(要求年度)						
予算情報	① 当初予算	0	0	0	予算編成時記入 (3次公表時)					
	② 補正予算	42,400	0	0						
	③ 繰越予算	△ 42,400	42,400	0						
	前年度繰越	0	42,400	0						
	次年度繰越	△ 42,400	0	0						
小計(①～③)	0	42,400	0							
予算財源内訳	① 一般財源	0	42,400	0						
	② 国支出金	0	0	0						
	③ 府支出金	0	0	0						
	④ 地方債	0	0	0						
	⑤ その他特財	0	0	0						
決算情報	① 流充用額	0	0							
	② 配当予算	0	42,400							
	③ 執行額	0	10,621							
	④ 執行率	0.0%	25.0%							
人概工算	① 従事職員数 (正職員 / 非常勤嘱託職員)	0.00 / 0.00	0.01 / 0.00	0.00 / 0.00	0.00 / 0.00					
	② 概算人件費	0	80	0	0					
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)	0	10,701	0	0						
主な利用特財 (N-1年度実績値)	特財名称	緊急事態措置協力金市町村負担事業(地方創生臨時交付金)		種類	商工費国庫補助金	実績金額	10,620	決算付属資料	20	頁

## IV 業績指標

成果実績 (アウトカム) 実績/目標	指標	単位	R1	R2	R3	R4	最終目標	
	受給者の事業継続割合	%	/	0 / 0	1175 / 1175	/	0	0
活動実績 (アウトプット) 実績/計画	指標	単位	R1	R2	R3	R4	最終目標	
	市町村負担金支出	件	/	0 / 0	1 / 1	/	0	0
	単位あたりコスト		/	/	10621.0	/		
	単位あたりコスト		/	/	/	/		

V 一次評価(事業担当所属内による自己評価)

項目	評価の観点	評価の観点に寄与した取組事項	施策・施策成果指標に対する貢献度
必要性	<ul style="list-style-type: none"> <li>市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か</li> <li>民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か</li> <li>目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か</li> </ul>	新型コロナウイルス感染症拡大防止のために時短勤務要請に応じてもらった事業者に対し、京都府を通じて支援を実施した。	<input checked="" type="checkbox"/> 高い
効率性	<ul style="list-style-type: none"> <li>受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か</li> <li>他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか</li> <li>コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか</li> </ul>	京都府と締結した「新型コロナウイルス感染症拡大防止のための時短要請に係る協力金に関する覚書」に基づき、市内支給店舗数に応じて算出された負担金額であり、妥当な水準である。	<input type="checkbox"/> やや高い <input type="checkbox"/> やや低い <input type="checkbox"/> 低い
有効性	<ul style="list-style-type: none"> <li>成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか</li> <li>活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか</li> <li>先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか</li> </ul>	京都府を通じて速やかに協力金を支給することができるため、有効性が高い。	
定性的な面も含めた自己評価及び現状の課題	時短勤務要請に応じて売上が減少した事業者の事業継続を支援することができた。		
改善策			

VI 二次評価(事業所属外による他部署評価)

事後評価コメント	事業評価実施後に記載(対象事業のみ)
----------	--------------------

VII 評価をふまえた次年度事業方針

担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分	評価を踏まえた見直し内容

VIII 予算反映結果

予算反映結果	<input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 予算拡充 <input type="checkbox"/> 予算縮減 <input type="checkbox"/> 他事業を統合 (統合事業名: ) <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 (統合先事業名: )
--------	--



# 福知山市 令和4年度事務事業評価シート

(単位：千円)

## I 事業属性

事業名	福知山市緊急事態措置協力金対象外事業者応援事業				事業コード	310182						
政策体系	基本政策	8 市民一人ひとりが、時代の変化を先取りし、地域産業の発展に貢献できるまち		政策目標	2 DXを生かした商業・サービス業の活性化							
	施策名	1 商店街や個店の魅力向上支援			施策コード	821						
事業担当	所属	25050000 産業政策部 産業観光課			所属長	山田 信義						
会計情報	款	07 商工費	項	01 商工費	目	02 商工業振興費		会計	01 一般会計	決算付属資料	176	頁
計画期間	開始年度	令和3年度	終了予定年度	令和3年度	関連計画名				R4現在の状況	廃止/休止		
根拠法令等												
事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input checked="" type="checkbox"/> 国府補助事業 <input type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> 内部庶務的事業 <input type="checkbox"/> その他 ( )											
関連事業												

## II 事業基礎情報

事業目的 (施策実現に向けて事業が果たす役割)	4月23日に国が緊急事態宣言を発出し、京都府全域に飲食店などに対する4月25日から5月11日までの休業・営業時間短縮等が要請され、特措法に基づく要請の対象事業者には協力金が支給されます。新型コロナウイルス感染症の感染拡大が続くなか、特措法による休業等要請の対象から外れる中小企業者・個人事業主等に対して福知山市独自の給付金を支給することで、市内事業者の経営を支援する。											
対象者	市内中小事業者等			対象者数	920		単位あたりコスト	427.0				
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input checked="" type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> その他 ( )											
委託先・実施主体等												
事業概要 (箇条書き)	新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響を受ける、休業等要請の対象から外れる中小企業者・個人事業主等に対して福知山市独自の給付金を支給する。 主な要件: 令和3年4月から8月までのいずれか1か月当たりの収入金額が、前年又は前々年同月比で30%以上減少している者 給付金額: 法人500千円、個人事業主 300千円											
主な支出に係る 業務内容と経費	支出に係る主な費目		支出実績(R3)		主な業務内容							
	需用費		111		消耗品費							
	役務費		237		広告料、郵送料							
	負担金補助及び交付金		383,067		給付金							

## III 予算執行状況

区分	R2(評価前年度)		R3(評価年度)		R4(本年度)		R5(要求年度)				
予算情報	① 当初予算	0	0	0	0	0	予算編成時記入 (3次公表時)				
	② 補正予算	0	384,372	0	0	0					
	③ 繰越予算	0	0	0	0	0					
	前年度繰越	0	0	0	0	0					
	次年度繰越	0	0	0	0	0					
小計(①~③)	0	384,372	0	0	0	0					
予算財源内訳	① 一般財源	0	384,372	0	0	0					
	② 国支出金	0	0	0	0	0					
	③ 府支出金	0	0	0	0	0					
	④ 地方債	0	0	0	0	0					
	⑤ その他特財	0	0	0	0	0					
決算情報	① 流充用額	0	0	0	0	0					
	② 配当予算	0	384,372	0	0	0					
	③ 執行額	0	383,415	0	0	0					
	④ 執行率	0.0%	99.8%	0.0%	0.0%	0.0%					
人概工算	① 従事職員数 (正職員 / 非常勤嘱託職員)	0.00 / 0.00	1.11 / 0.20	0.00 / 0.00	0.00 / 0.00	0.00 / 0.00					
	② 概算人件費	0	9,380	0	0	0					
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)	0	392,795	0	0	0	0					
主な利用特財 (N-1年度実績値)	特財名称	福知山市緊急事態措置協力金対象外事業者応援事業(地方創生臨時交付金)		種類	商工費国庫補助金		実績金額	92,158	決算付属資料	18	頁

## IV 業績指標

成果実績 (アウトカム) 実績/目標	指標	単位	R1	R2	R3	R4	最終目標
	受給者の事業継続割合	%	/	/	/	100 / 100	/ 0
活動実績 (アウトプット) 実績/計画	指標	単位	R1	R2	R3	R4	最終目標
	給付件数	件	/	/	1033 / 1220	/ 0	0
	単位あたりコスト		/	/	371.2	/	
	単位あたりコスト		/	/	/	/	

V 一次評価(事業担当所属内による自己評価)

項目	評価の観点	評価の観点に寄与した取組事項	施策・施策成果指標に対する貢献度
必要性	<ul style="list-style-type: none"> <li>市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か</li> <li>民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か</li> <li>目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か</li> </ul>	新型コロナウイルス感染症拡大に伴う経営状況の悪化に対し、支援を実施した。	<input checked="" type="checkbox"/> 高い
効率性	<ul style="list-style-type: none"> <li>受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か</li> <li>他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか</li> <li>コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか</li> </ul>	原則申請から1か月以内に事業者に対し給付することができた。支払い事務担当課とも協力し、迅速に対応した。	<input type="checkbox"/> やや高い <input type="checkbox"/> やや低い <input type="checkbox"/> 低い
有効性	<ul style="list-style-type: none"> <li>成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか</li> <li>活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか</li> <li>先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか</li> </ul>	30%以上の売り上げ減少が確認された事業者に対し支給している。想定件数は、支援対象を同様とする時短要請協力金対象外事業者応援給付金事業を参考に算出しており、府の時短要請協力金の対象外となる事業者を支援することで、市内の中小企業者を支援した。	
定性的な面も含めた自己評価及び現状の課題	コロナ禍において早期に取組むことで、売上が減少した事業者の事業継続を支援することができた。できる限りはやく給付することができるように、庁内の体制も連携をとることができた。なお、申請にあたっての情報不足や記載ミスなど多かったこともあるので、可能な限り申請者に負担をかけない方法を考えたい。		
改善策	申請書の記載については、一定の情報を入力すれば、必要な数字が自動算出されるような様式を準備するなど申請者に負担をかけない方法を提示できるようにする。		

VI 二次評価(事業所属外による他部署評価)

事後評価コメント	事業評価実施後に記載(対象事業のみ)
----------	--------------------

VII 評価をふまえた次年度事業方針

担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分	評価を踏まえた見直し内容
		予算編成に記入(3次公表時)

VIII 予算反映結果

予算反映結果	<input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 予算拡充 <input type="checkbox"/> 予算縮減 <input type="checkbox"/> 他事業を統合 (統合事業名: ) <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 (統合先事業名: )
--------	--

# 福知山市 令和4年度事務事業評価シート

(単位：千円)

## I 事業属性

事業名	福知山市月次支援事業				事業コード	310184						
政策体系	基本政策	8 市民一人ひとりが、時代の変化を先取りし、地域産業の発展に貢献できるまち			政策目標	2 DXを生かした商業・サービス業の活性化						
	施策名	1 商店街や個店の魅力向上支援			施策コード	821						
事業担当	所属	25050000 産業政策部 産業観光課			所属長	山田 信義						
会計情報	款	07 商工費	項	01 商工費	目	02 商工業振興費		会計	01 一般会計	決算付属資料	176	頁
計画期間	開始年度	令和3年度	終了予定年度	令和3年度	関連計画名				R4現在の状況	廃止/休止		
根拠法令等												
事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 国府補助事業 <input checked="" type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> 内部庶務的事業 <input type="checkbox"/> その他 ( )											
関連事業												

## II 事業基礎情報

事業目的 (施策実現に向けて事業が果たす役割)	新型コロナウイルス感染症の感染拡大が続く中、京都府全域において令和3年8月20日から緊急時相措置が適用され、特措法に基づく休業要請や時短要請、外出自粛の影響が続くことが予想されるため、要請の影響を受けて売り上げ減少した事業者に対し、国の月次支援金と協調して市独自の給付金を支給することで、市内事業者の事業継続を支援する。											
対象者	市内中小事業者等			対象者数	600		単位あたりコスト	45.0				
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input checked="" type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> その他 ( )											
委託先・実施主体等												
事業概要 (箇条書き)	新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響を受ける事業者で、協力金の対象から外れる中小企業者・個人事業主等に対して福知山市独自の給付金を支給する。 主な要件：令和3年9月、10月において月毎の売上が、前年又は前々年同期比で30%以上50%未満の範囲で減少している者 給付金上限額：法人160千円/月、個人事業主 80千円/月											
主な支出に係る 業務内容と経費	支出に係る主な費目	支出実績(R3)		主な業務内容								
	需用費	100		消耗品費								
	役員費	197		広告掲載料、郵送料								
	負担金補助及び交付金	22,266		支援金								

## III 予算執行状況

区分	R2(評価前年度)	R3(評価年度)	R4(本年度)	R5(要求年度)			
予算情報	① 当初予算	0	0	0			
	② 補正予算	0	22,857	0			
	③ 繰越予算	0	0	0			
	前年度繰越	0	0	0			
	次年度繰越	0	0	0			
小計(①～③)	0	22,857	0	予算編成時記入 (3次公表時)			
予算財源内訳	① 一般財源	0	431		0		
	② 国支出金	0	22,426		0		
	③ 府支出金	0	0		0		
	④ 地方債	0	0		0		
	⑤ その他特財	0	0		0		
決算情報	① 流充用額	0	0				
	② 配当予算	0	22,857				
	③ 執行額	0	22,563				
	④ 執行率	0.0%	98.7%				
人概 工算	① 従事職員数 (正職員 / 非常勤嘱託職員)	0.00 / 0.00	0.52 / 0.10		0.00 / 0.00		
	② 概算人件費	0	4,410		0		
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)	0	26,973	0		0		
主な利用特財 (N-1年度実績値)	特財名称	種類			実績金額	決算付属資料	頁

## IV 業績指標

成果実績 (アウトカム) 実績/目標	指標	単位	R1	R2	R3	R4	最終目標
	受給者の事業継続割合	%	/	/	/	100 / 100	/ 0
活動実績 (アウトプット) 実績/計画	指標	単位	R1	R2	R3	R4	最終目標
	給付件数	件	/	/	232 / 1200	/ 0	0
	単位あたりコスト		/	/	97.3	/	
	単位あたりコスト		/	/	/	/	

V 一次評価(事業担当所属内による自己評価)

項目	評価の観点	評価の観点に寄与した取組事項	施策・施策成果指標に対する貢献度
必要性	<ul style="list-style-type: none"> <li>市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か</li> <li>民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か</li> <li>目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か</li> </ul>	新型コロナウイルス感染症拡大に伴う経営状況の悪化に対し、支援を実施した。	<input type="checkbox"/> 高い <input checked="" type="checkbox"/> やや高い <input type="checkbox"/> やや低い <input type="checkbox"/> 低い
効率性	<ul style="list-style-type: none"> <li>受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か</li> <li>他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか</li> <li>コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか</li> </ul>	原則申請から1か月以内に事業者に対し給付することができた。支払い事務担当課とも協力し、迅速に対応した。	<input checked="" type="checkbox"/> やや高い <input type="checkbox"/> やや低い <input type="checkbox"/> 低い
有効性	<ul style="list-style-type: none"> <li>成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか</li> <li>活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか</li> <li>先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか</li> </ul>	30%以上50%未満の売り上げ減少が確認された事業者に対し支給している。想定件数は、類似の給付金事業から算出したものの、大幅に減少した。	
定性的な面も含めた自己評価及び現状の課題	コロナ禍にあつて売上減少した事業者を支援することにより、事業の継続を図ることができた。ただし、実際の給付件数は予想(過去の給付金から予想値算出)を大きく下回る結果であつた。給付額がそれまでの給付金と違い月額になったことで手続きが煩わしいと思つてしまつたのか、売り上げが回復に転じたタイミングだつたのか、国の月次支援金になるような売上減少率だつたのか、理由は不明である。いずれにしても、一定社会が動き出しを見せようとしていたタイミングでもあつたため、事業者への直接支援ではなく、消費喚起での経済対策に転じることも考えられた。		
改善策	実際の社会動向を注視して、経済支援策を考える。		

VI 二次評価(事業所属外による他部署評価)

事後評価コメント	事業評価実施後に記載(対象事業のみ)
----------	--------------------

VII 評価をふまえた次年度事業方針

担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分	評価を踏まえた見直し内容
		予算編成に記入(3次公表時)

VIII 予算反映結果

予算反映結果	<input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 予算拡充 <input type="checkbox"/> 予算縮減 <input type="checkbox"/> 他事業を統合 (統合事業名: ) <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 (統合先事業名: )
--------	--

# 福知山市 令和4年度事務事業評価シート

(単位：千円)

## I 事業属性

事業名	まちなか賑わい推進事業					事業コード	310212					
政策体系	基本政策	8 市民一人ひとりが、時代の変化を先取りし、地域産業の発展に貢献できるまち			政策目標	2 DXを生かした商業・サービス業の活性化						
	施策名	1 商店街や個店の魅力向上支援			施策コード	821						
事業担当	所属	25050000 産業政策部 産業観光課			所属長	森田 成章						
会計情報	款	07 商工費	項	01 商工費	目	02 商工業振興費		会計	01 一般会計	決算付属資料	176・178	頁
計画期間	開始年度	令和3年度	終了予定年度	令和8年度	関連計画名				R4現在の状況	継続中		
根拠法令等												
事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 国府補助事業 <input checked="" type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> 内部庶務的業務 <input type="checkbox"/> その他 ( )											
関連事業												

## II 事業基礎情報

事業目的 (施策実現に向けて事業が果たす役割)	施設の適切な維持管理及び、活性化状況の調査分析を通じ、まちなか賑わいの推進を図る。											
対象者	観光客及び市民			対象者数	619,203			単位あたりコスト	0.0			
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> その他 ( )											
委託先・実施主体等	森田電気設備管理事務所、アムス・セキュリティサービス株式会社、福知山SL保存会											
事業概要 (箇条書き)	・旧新町文化センター(福知山鉄道館ポッポランド1号館)の維持管理 ・福知山鉄道館ポッポランド2号館の維持管理・運営 ・中心市街地通行量調査(平成22年から年1回実施)											
主な支出に係る 業務内容と経費	支出に係る主な費目	支出実績(R3)	主な業務内容									
	報償費	100	ポッポランド2号館SL清掃作業謝礼									
	旅費、役務費	104	新たな鉄道館建設に係る視察、建物共済									
	需用費	877	新町商店街駐車場修繕、ポッポランド2号館照明修繕、光熱水費、消耗品の購入									
	委託料	995	ポッポランド2号館施錠・清掃業務、機械警備、中心市街地通行人調査業務、自家電保安管理業務									
	使用料及び賃借料	1,673	不動産賃借料、高速道路使用料									

## III 予算執行状況

区分	R2(評価前年度)	R3(評価年度)	R4(本年度)	R5(要求年度)				
予算情報	① 当初予算	0	3,930	3,634	予算編成時記入 (3次公表時)			
	② 補正予算	0	0	0				
	③ 繰越予算	0	0	0				
	前年度繰越	0	0	0				
	次年度繰越	0	0	0				
小計(①～③)	0	3,930	3,634					
予算財源内訳	① 一般財源	0	0	3,634				
	② 国支出金	0	0	0				
	③ 府支出金	0	1,965	0				
	④ 地方債	0	0	0				
	⑤ その他特財	0	1,965	0				
決算情報	① 流充用額	0	△ 181					
	② 配当予算	0	3,749					
	③ 執行額	0	3,749					
	④ 執行率	0.0%	100.0%					
人概 工算	① 従事職員数 (正職員 / 非常勤嘱託職員)	0.00 / 0.00	0.31 / 0.00	0.31 / 0.00	0.00 / 0.00			
	② 概算人件費	0	2,480	2,480	0			
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)	0	6,229	2,480	0				
主な利用特財 (N-1年度実績値)	特財名称	まちなか賑わい推進事業基金繰入		実績金額	3,680	決算付属資料	38	頁
	種類							

## IV 業績指標

成果実績 (アウトカム) 実績/目標	指標	単位	R1	R2	R3	R4	最終目標
		歩行者・自転車通行量	人	/	/	3572 / 4200	/ 4200
活動実績 (アウトプット) 実績/計画	指標	単位	R1	R2	R3	R4	最終目標
	ポッポランド2号館開館日数	日	0 / -	0 / -	275 / 307	/ 308	307日
	単位あたりコスト		/	/	13.6	/	
	単位あたりコスト		/	/	/	/	

V 一次評価(事業担当所属内による自己評価)

項目	評価の観点	評価の観点に寄与した取組事項	施策・施策成果指標に対する貢献度
必要性	<ul style="list-style-type: none"> <li>市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か</li> <li>民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か</li> <li>目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か</li> </ul>	中心市街地の活性化状況を計るため、令和3年度も継続して通行量調査を実施した。 また、「鉄道のまち福知山」の発信・継承をするために、福知山鉄道館ポップランド2号館の維持管理・運営を行った。	<input type="checkbox"/> 高い
効率性	<ul style="list-style-type: none"> <li>受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か</li> <li>他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか</li> <li>コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか</li> </ul>	施設の維持管理・運営に係る業務や、通行量調査について、経験・知見をもった事業者へ業務委託し、効率的に事業を実施している。	<input checked="" type="checkbox"/> やや高い <input type="checkbox"/> やや低い <input type="checkbox"/> 低い
有効性	<ul style="list-style-type: none"> <li>成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか</li> <li>活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか</li> <li>先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか</li> </ul>	新型コロナウイルス感染症感染拡大に伴い、目標値を下回った。 通行量調査の測定結果は関係団体と共有し、各団体にて事業の評価等に活用いただいている。 人流データの取得方法について、スマートフォンの位置情報などを活用する方法を試行したが、取得標本数が実測値と大きく異なったため、導入には至っていない。	
定性的な面も含めた自己評価及び現状の課題	平成22年から継続的に実施している中心市街地通行量調査は、過去との比較を通じて、市やまちづくり会社、商店街等が取り組む活性化事業等の効果を測定する上で重要な指標となっている。 しかしながら、年1回(休平日各1日)のみの調査では、天候等の影響を受けるほか、季節等ごとの変動、来街者の属性や行動特性等のデータを取得することはできておらず、事業立案などに活用することができていないことが課題である。		
改善策	マーケティング等の視点に立ち、新たな技術を活用した調査方法の検討を行う。		

VI 二次評価(事業所属外による他部署評価)

事後評価コメント	事業評価実施後に記載(対象事業のみ)
----------	--------------------

VII 評価をふまえた次年度事業方針

	方針区分	評価を踏まえた見直し内容
担当課の事業の見直し及び予算要求方針		予算編成に記入 (3次公表時)

VIII 予算反映結果

予算反映結果	<input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 予算拡充 <input type="checkbox"/> 予算縮減 <input type="checkbox"/> 他事業を統合 (統合事業名: ) <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 (統合先事業名: )
--------	--

# 福知山市 令和4年度事務事業評価シート

(単位：千円)

## I 事業属性

事業名	まちづくり会社活動支援事業				事業コード	310219						
政策体系	基本政策	8 市民一人ひとりが、時代の変化を先取りし、地域産業の発展に貢献できるまち			政策目標	2 DXを生かした商業・サービス業の活性化						
	施策名	1 商店街や個店の魅力向上支援			施策コード	821						
事業担当	所属	25050000 産業政策部 産業観光課			所属長	森田 成章						
会計情報	款	07 商工費	項	01 商工費	目	02 商工業振興費		会計	01 一般会計	決算付属資料	178	頁
計画期間	開始年度	平成20年度	終了予定年度	令和8年度	関連計画名	福知山市中心市街地活性化基本計画			R4現在の状況	継続中		
根拠法令等	福知山まちづくり株式会社事業支援補助金交付要領											
事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input checked="" type="checkbox"/> 国府補助事業 <input checked="" type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> 内部庶務的業務 <input type="checkbox"/> その他 ( )											
関連事業												

## II 事業基礎情報

事業目的 (施策実現に向けて事業が果たす役割)	福知山まちづくり株式会社が、中心市街地活性化基本計画に係る各事業を着実に推進すること目的に、その実施事業に対して支援を行う。											
対象者	観光客及び市民			対象者数	946,618		単位あたりコスト	0.0				
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input checked="" type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> その他 ( )											
委託先・実施主体等	福知山まちづくり株式会社											
事業概要 (箇条書き)	福知山まちづくりが実施する中心市街地活性化基本計画に基づく事業に対して補助金を交付した。(中心市街地活性化基本計画1期計画事業「福知山城周辺賑わい創出施設整備事業」及び「広小路商店街テナントミックス事業」において整備を行ったエリア及びテナントに係る管理運営、出店者や商店街組織との連携調整等による集客拠点化を図る事業)											
主な支出に係る業務内容と経費	支出に係る主な費目	支出実績(R3)		主な業務内容								
	使用料及び賃借料	8		施設使用・入館料								
	負担金補助及び交付金	1,777		福知山まちづくり株式会社事業支援補助金								

## III 予算執行状況

区分	R2(評価前年度)	R3(評価年度)	R4(本年度)	R5(要求年度)					
予算情報	① 当初予算	1,817	1,777	1,808	予算編成時記入 (3次公表時)				
	② 補正予算	0	0	0					
	③ 繰越予算	0	0	0					
	前年度繰越	0	0	0					
	次年度繰越	0	0	0					
小計(①～③)	1,817	1,777	1,808						
予算財源内訳	① 一般財源	780	781	688					
	② 国支出金	0	0	0					
	③ 府支出金	821	780	904					
	④ 地方債	0	0	0					
	⑤ その他特財	216	216	216					
決算情報	① 流充用額	0	8						
	② 配当予算	1,817	1,785						
	③ 執行額	1,817	1,785						
	④ 執行率	100.0%	100.0%						
人概工算	① 従事職員数 (正職員 / 非常勤嘱託職員)	0.19 / 0.00	0.50 / 0.00	0.50 / 0.00	0.00 / 0.00				
	② 概算人件費	1,520	4,000	4,000	0				
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)	3,337	5,785	4,000	0					
主な利用特財 (N-1年度実績値)	特財名称	まちづくり会社活動支援事業(きょうと地域連携交付金)		種類	商工費府補助金	実績金額	776	28	頁
		まちづくり会社配当金			利子及び配当金		216	34	

## IV 業績指標

成果実績 (アウトカム) 実績/目標	指標	単位	R1	R2	R3	R4	最終目標
	ゆらのガーデン・広小路テナントミックス店舗数	軒	12 / 12	12 / 12	12 / 12	12 / 12	12
			/	/	/	/	
活動実績 (アウトプット) 実績/計画	指標	単位	R1	R2	R3	R4	最終目標
	出店者協議会回数	回	9 / 12	3 / 12	3 / 12	3 / 12	12
	単位あたりコスト		205.2	605.7	595.0		
	単位あたりコスト		/	/	/	/	

V 一次評価(事業担当所属内による自己評価)

項目	評価の観点	評価の観点に寄与した取組事項	施策・施策成果指標に対する貢献度
必要性	<ul style="list-style-type: none"> <li>市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か</li> <li>民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か</li> <li>目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か</li> </ul>	福知山市中心市街地活性化基本計画終了後も、福知山まちづくり㈱が商店街及び市民グループ等の関係団体と連携を図る体制を支援する必要がある。まちづくり構想福知山においても「商店街、福知山まちづくり株式会社、福知山商工会議所、福知山市商工会などと連携した、各エリア、各個店の誘客と賑わい創出の取組に対する支援」を達成するための事業である。R3年11月には京都工芸繊維大学の広小路プロジェクトチームと協賛し、歩道活用の実証実験となる「広小路テラス」を実施し、商店街の新たな魅力のつくりかたを検証した。	<input type="checkbox"/> 高い <input type="checkbox"/> やや高い <input checked="" type="checkbox"/> やや低い <input type="checkbox"/> 低い
効率性	<ul style="list-style-type: none"> <li>受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か</li> <li>他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか</li> <li>コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか</li> </ul>	各商店街等と密接な関りがある福知山まちづくり㈱が事業を実施することにより、スモールエリアでのエリアマネジメントの取組が生まれている。	
有効性	<ul style="list-style-type: none"> <li>成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか</li> <li>活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか</li> <li>先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか</li> </ul>	中心市街地活性化に向けた先導的な取組として実施したゆらのガーデン及び広小路でのテナントミックス事業において、出店店舗数の維持と共に、手法の普及及び更なる民間投資の喚起等へと繋げていくことで事業の有効性を高めるとともに大学等との連携も進めていきたい。ゆらのガーデンテナントでは、R2年度に1店舗が退店したが、R3年8月に新店舗をオープンさせ、テナントをすべて稼働させることができています。	
定性的な面も含めた自己評価及び現状の課題	新型コロナウイルス感染症拡大の影響を受け、会議及びイベントの開催等は自粛となったが、情報共有は逐次行い、ゆらのガーデンや広小路商店街等店舗の広報支援を行い、集客増に繋がった。 第2期中心市街地活性化基本計画の中核的な実施主体の1つである福知山まちづくり㈱を引き続き指導・支援することで、継続的に中心市街地活性化を図る必要がある。		
改善策	福知山まちづくり㈱のコネクションやノウハウを活かして、複数の商店街団体や商工会議所等と連携した活動を要求、支援していく。 福知山まちづくり㈱が実施する事業効果の検証等を行い、来年度以降の実施事業及び体制を検討する。		

VI 二次評価(事業所属外による他部署評価)

事後評価コメント	事業評価実施後に記載(対象事業のみ)
----------	--------------------

VII 評価をふまえた次年度事業方針

担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分	評価を踏まえた見直し内容

VIII 予算反映結果

予算反映結果	<input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 予算拡充 <input type="checkbox"/> 予算縮減 <input type="checkbox"/> 他事業を統合 (統合事業名: ) <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 (統合先事業名: )
--------	--



# 福知山市 令和4年度事務事業評価シート

(単位：千円)

## I 事業属性

事業名	福知山パーキング管理事業				事業コード	310247						
政策体系	基本政策	8 市民一人ひとりが、時代の変化を先取りし、地域産業の発展に貢献できるまち			政策目標	2 DXを生かした商業・サービス業の活性化						
	施策名	1 商店街や個店の魅力向上支援			施策コード	821						
事業担当	所属	25050000 産業政策部 産業観光課			所属長	森田 成章						
会計情報	款	07 商工費	項	01 商工費	目	02 商工業振興費		会計	01 一般会計	決算付属資料	178	頁
計画期間	開始年度	平成27年度	終了予定年度	令和8年度	関連計画名	-			R4現在の状況	継続中		
根拠法令等												
事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 国府補助事業 <input checked="" type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> 内部庶務的の事業 <input type="checkbox"/> その他 ( )											
関連事業	城下町福知山・まち歩き観光促進事業											

## II 事業基礎情報

事業目的 (施策実現に向けて 事業が果たす役割)	中心市街地の大型駐車場である福知山パーキングの維持管理を適切に行うことで、市民や来街者が円滑に駐車することができるようにし、まち歩きやまちなか観光を促進させ、まちなかの活性化を図る。											
対象者	観光客及び市民			対象者数	946,618		単位あたりコスト	0.0				
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> その他 ( )											
委託先・実施主体等	福知山まちづくり株式会社											
事業概要 (箇条書き)	福知山パーキングに設置している駐車管理機器の維持管理											
主な支出に係る 業務内容と経費	支出に係る主な費目	支出実績(R3)	主な業務内容									
	需用費	186	天井雨漏り修繕、トイレ修繕									
	使用料及び賃借料	1,879	駐車管理機器賃借									

## III 予算執行状況

区分	R2(評価前年度)	R3(評価年度)	R4(本年度)	R5(要求年度)					
予算情報	① 当初予算	1,968	2,036	4,575	予算編成時記入 (3次公表時)				
	② 補正予算	0	0	0					
	③ 繰越予算	0	0	0					
	前年度繰越	0	0	0					
	次年度繰越	0	0	0					
小計(①～③)	1,968	2,036	4,575						
予算財源内訳	① 一般財源	441	553	3,092					
	② 国支出金	0	0	0					
	③ 府支出金	0	0	0					
	④ 地方債	0	0	0					
	⑤ その他特財	1,527	1,483	1,483					
決算情報	① 流充用額	292	30						
	② 配当予算	2,260	2,066						
	③ 執行額	2,259	2,066						
	④ 執行率	100.0%	100.0%						
人概 工算	① 従事職員数 (正職員 / 非常勤嘱託職員)	0.12 / 0.00	0.41 / 0.00	0.41 / 0.00	0.00 / 0.00				
	② 概算人件費	960	3,280	3,280	0				
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)	3,219	5,346	3,280	0					
主な利用特財 (N-1年度実績値)	特財名称	御霊公園福知山パーキング貸付料	種類	財産貸付収入	実績金額	1,483	決算付属資料	32	頁

## IV 業績指標

成果実績 (アウトカム) 実績/目標	指標	単位	R1	R2	R3	R4	最終目標
		広小路通り歩行者自転車通行量	人	533 / 900	776 / 917	705 / 917	/ 917
活動実績 (アウトプット) 実績/計画	指標	単位	R1	R2	R3	R4	最終目標
	パーキング利用台数	台	40924 / 41000	29913 / 41000	25730 / 41000	/ 41000	41000
	単位あたりコスト		0.1	0.1	0.1		
			/	/	/	/	
	単位あたりコスト						

V 一次評価(事業担当所属内による自己評価)

項目	評価の観点	評価の観点に寄与した取組事項	施策・施策成果指標に対する貢献度
必要性	<ul style="list-style-type: none"> <li>市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か</li> <li>民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か</li> <li>目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か</li> </ul>	<p>広小路界隈、御霊公園など中心市街地の回遊の拠点となる重要な駐車場であると同時に厚生会館や御霊公園での催し実施の際の一時駐車や周辺企業等の従業員の月極駐車場としての機能も果たしている。R3年度は事務所の雨漏り修繕及び多目的トイレの修繕を実施した。</p>	<input type="checkbox"/> 高い <input checked="" type="checkbox"/> やや高い <input type="checkbox"/> やや低い <input type="checkbox"/> 低い
効率性	<ul style="list-style-type: none"> <li>受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か</li> <li>他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか</li> <li>コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか</li> </ul>	<p>計画的に修繕をすることで、コスト削減や効率化が図られている。精算機等の管理機器についてはR3年度に賃貸借契約が満了し、R4年度から財産となる。</p>	<input type="checkbox"/> やや低い <input type="checkbox"/> 低い
有効性	<ul style="list-style-type: none"> <li>成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか</li> <li>活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか</li> <li>先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか</li> </ul>	<p>R3年度はコロナ禍によるイベント中止等の影響を受け、パーキング利用台数が目標値に対し△15,000台程度となった。計画的に施設修繕等を実施していくことで、施設の長寿命化及び施設利用者の利便性の向上につながる。</p>	
定性的な面も含めた自己評価及び現状の課題	<p>新型コロナウイルス感染症拡大の影響による厚生会館等のイベント自粛で、時間駐車車の台数が減少したが、屋根付き、防犯カメラ付き等の優位性をアピールし、月極利用台数の維持に努めた。 施設の老朽化に伴う事務所やトイレの雨漏りについては、必要に応じて修繕を実施し、施設の維持管理を継続していく必要がある。</p>		
改善策	<p>まち歩き観光促進事業の協力店舗と連携し、来店者への積極的な周知を図り、更なるパーキング利用者増加と店舗の集客増に繋げる。 また、周辺イベントの開催を促し、まちなかの賑わい創出やパーキング利用者増を図る。 施設利用者の利便性向上のため、必要に応じて修繕等を行い、適切な維持管理に努める。</p>		

VI 二次評価(事業所属外による他部署評価)

事後評価コメント	事業評価実施後に記載(対象事業のみ)
----------	--------------------

VII 評価をふまえた次年度事業方針

担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分	評価を踏まえた見直し内容

VIII 予算反映結果

予算反映結果	<input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 予算拡充 <input type="checkbox"/> 予算縮減 <input type="checkbox"/> 他事業を統合 (統合事業名: ) <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 (統合先事業名: )
--------	--

# 福知山市 令和4年度事務事業評価シート

(単位：千円)

## I 事業属性

事業名	地域資源の活用と創業支援による交流人口倍増戦略事業					事業コード	310252				
政策体系	基本政策	8 市民一人ひとりが、時代の変化を先取りし、地域産業の発展に貢献できるまち			政策目標	2 DXを生かした商業・サービス業の活性化					
	施策名	1 商店街や個店の魅力向上支援			施策コード	821					
事業担当	所属	25050000 産業政策部 産業観光課			所属長	森田 成章					
会計情報	款	07 商工費	項	01 商工費	目	02 商工業振興費	会計	01 一般会計	決算付属資料	178	頁
計画期間	開始年度	平成27年度	終了予定年度	令和4年度	関連計画名				R4現在の状況	継続中	
根拠法令等											
事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input checked="" type="checkbox"/> 国府補助事業 <input type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> 内部庶務的事業 <input type="checkbox"/> その他 ( )										
関連事業											

## II 事業基礎情報

事業目的 (施策実現に向けて事業が果たす役割)	民間主導の公民連携による先導的な事業モデルにより、遊休不動産を活用した創業支援、賑わい創出を図る。										
対象者	観光客及び市民			対象者数	619,203		単位あたりコスト	0.0			
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input checked="" type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> その他 ( )										
委託先・実施主体等	福知山フロント株式会社										
事業概要 (箇条書き)	・福知山フロント株式会社が実施するテナントミックス事業等に対して補助金を交付 ・福知山フロント株式会社戦略会議出席及び情報交換等										
主な支出に係る 業務内容と経費	支出に係る主な費目	支出実績(R3)		主な業務内容							
	負担金補助及び交付金	6,000		地域資源と創業支援による交流人口倍増事業							

## III 予算執行状況

区分	R2(評価前年度)	R3(評価年度)	R4(本年度)	R5(要求年度)			
予算情報	① 当初予算	6,000	6,000	6,000	予算編成時記入 (3次公表時)		
	② 補正予算	0	0	0			
	③ 繰越予算	0	0	0			
	前年度繰越	0	0	0			
	次年度繰越	0	0	0			
小計(①～③)	6,000	6,000	6,000				
予算財源内訳	① 一般財源	0	0	0			
	② 国支出金	0	0	0			
	③ 府支出金	3,000	3,000	3,000			
	④ 地方債	0	0	0			
	⑤ その他特財	3,000	3,000	3,000			
決算情報	① 流充用額	0	0				
	② 配当予算	6,000	6,000				
	③ 執行額	6,000	6,000				
	④ 執行率	100.0%	100.0%				
人概 工算	① 従事職員数 (正職員 / 非常勤嘱託職員)	0.19 / 0.00	0.26 / 0.00	0.26 / 0.00	0.00 / 0.00		
	② 概算人件費	1,520	2,080	2,080	0		
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)	7,520	8,080	2,080	0			
主な利用特財 (N-1年度実績値)	特財名称	地域資源の活用と創業支援による交流人口倍増戦略事業(きょうと地域連携交付金)	種類	商工費府補助金	実績金額	2,623	28
		地域資源の活用と創業支援による交流人口倍増戦略事業基金繰入		基金繰入金		3,000	
						決算付属資料	頁

## IV 業績指標

成果実績 (アウトカム) 実績/目標	指標	単位	R1	R2	R3	R4	最終目標	
		駅正面通りの歩行者・自転車の通行量	人	894 / 740	357 / 755	513 / 755	/ 755	755
活動実績 (アウトプット) 実績/計画	指標	単位	R1	R2	R3	R4	最終目標	
		駅正面通りでの新規開業数	件	8 / 10	12 / 10	12 / 14	/ 20	10
	(累計)	単位あたりコスト	500.0	500.0	500.0			
		単位あたりコスト	/	/	/	/		

V 一次評価(事業担当所属内による自己評価)

項目	評価の観点	評価の観点に寄与した取組事項	施策・施策成果指標に対する貢献度
必要性	<ul style="list-style-type: none"> <li>市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か</li> <li>民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か</li> <li>目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か</li> </ul>	市より福知山フロント株式会社に補助金交付を通じ、商店街及び商店街内物件所有者との交渉等を実施いただいた。商店街内のビルを活用し、商店街に不足する機能を充足する複合型施設の整備を福知山フロント株式会社が主体となって実施する計画を立案。物件見学会を通じた新規開業希望者の掘り起こし、選考等を行った。	<input checked="" type="checkbox"/> 高い
効率性	<ul style="list-style-type: none"> <li>受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か</li> <li>他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか</li> <li>コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか</li> </ul>	令和4年度に計画している複合型施設の整備に当たっても、経済産業省補助金を活用する他、福知山フロント株式会社が銀行等から借入を行う計画であり、また、運営に当たっては市等からの補助金の交付を受けない計画である。民間主導の公民連携により効率化を図れている。	<input type="checkbox"/> やや高い <input type="checkbox"/> やや低い <input type="checkbox"/> 低い
有効性	<ul style="list-style-type: none"> <li>成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか</li> <li>活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか</li> <li>先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか</li> </ul>	定例の会議実施等により密に情報を共有し事業を進め、令和4年度に複合型施設の整備する事業計画を固めることができた。通行量については、新型コロナウイルス感染症感染拡大による外出自粛等の影響により低調ではあるが、新規開業数は既に当初の目標を上回っており、令和4年度の複合型施設の整備により、更に多くの新規開業を見込む。	
定性的な面も含めた自己評価及び現状の課題	福知山フロント株式会社が主導し、リスクも負いながら、遊休不動産を活用したサブリース方式による創業支援に積極的に取り組んでいただいている。先導的なモデルとして他の商店街、地域への波及等に取り組んでいくことが課題。		
改善策	福知山フロント株式会社の取組・成果等について、市HPや広報誌等での発信するとともに、各商店街等との協議・相談時に情報提供等行う。		

VI 二次評価(事業所属外による他部署評価)

事後評価コメント	事業評価実施後に記載(対象事業のみ)
----------	--------------------

VII 評価をふまえた次年度事業方針

担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分	評価を踏まえた見直し内容

VIII 予算反映結果

予算反映結果	<input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 予算拡充 <input type="checkbox"/> 予算縮減 <input type="checkbox"/> 他事業を統合 (統合事業名: ) <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 (統合先事業名: )
--------	--

# 福知山市 令和4年度事務事業評価シート

(単位：千円)

## I 事業属性

事業名	中心市街地空き家・空き店舗等対策支援事業				事業コード	310256						
政策体系	基本政策	8 市民一人ひとりが、時代の変化を先取りし、地域産業の発展に貢献できるまち			政策目標	2 DXを生かした商業・サービス業の活性化						
	施策名	1 商店街や個店の魅力向上支援			施策コード	821						
事業担当	所属	25050000 産業政策部 産業観光課			所属長	森田 成章						
会計情報	款	07 商工費	項	01 商工費	目	02 商工業振興費		会計	01 一般会計	決算付属資料	178	頁
計画期間	開始年度	平成23年度	終了予定年度	令和8年度	関連計画名	福知山市中心市街地活性化基本計画		R4現在の状況	継続中			
根拠法令等	空き家・空き店舗等ストックバンク制度要綱、空き店舗等対策支援事業補助金交付要領、福知山市地域商業機能複合化推進事業費補助金交付要綱											
事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input checked="" type="checkbox"/> 国府補助事業 <input checked="" type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> 内部庶務的事業 <input type="checkbox"/> その他 ( )											
関連事業												

## II 事業基礎情報

事業目的 (施策実現に向けて事業が果たす役割)	空き家、空き店舗が増え、空洞化が進む中心市街地において、不動産の流通を促進し、まちなかでの居住・開業の推進による居住人口の増加と商業活性化を図る。											
対象者	まちなかへの移住・開業希望者、福知山フロント株式会社				対象者数	1		単位あたりコスト	6,857.0			
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input checked="" type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> その他 ( )											
委託先・実施主体等	福知山まちづくり株式会社、福知山フロント株式会社											
事業概要 (箇条書き)	福知山市及び福知山まちづくり株式会社のホームページにて、中心市街地エリアの空き家、空き店舗、空き地の情報を掲載し、情報発信を行った。福知山まちづくり株式会社に委託し、物件所有者や利用希望者登録者の申請、物件内覧、成約に係る相談窓口及び手続業務等を行った。ストックバンク登録物件を利用し、新規開業をする際に、店舗改修に係る補助金を交付した。R3年度の補助金交付実績数は1件。その他2件の出店希望者がいたが、コロナ禍により出店を断念した。											
主な支出に係る 業務内容と経費	支出に係る主な費目	支出実績(R3)	主な業務内容									
	委託料	3,577	中心市街地空き家・空き店舗等ストックバンク登録業務									
	負担金補助及び交付金	1,200	空き店舗等対策事業補助金									

## III 予算執行状況

区分	R2(評価前年度)		R3(評価年度)		R4(本年度)		R5(要求年度)			
予算情報	① 当初予算	8,959		8,386		53,386		予算編成時記入 (3次公表時)		
	② 補正予算	0		0		0				
	③ 繰越予算	0		0		0				
	前年度繰越	0		0		0				
	次年度繰越	0		0		0				
小計(①~③)	8,959		8,386		53,386					
予算財源内訳	① 一般財源	0		0		0				
	② 国支出金	0		0		30,000				
	③ 府支出金	4,479		4,193		11,693				
	④ 地方債	0		0		0				
	⑤ その他特財	4,480		4,193		11,693				
決算情報	① 流充用額	0		△ 3,600						
	② 配当予算	8,959		4,786						
	③ 執行額	8,591		4,777						
	④ 執行率	95.9%		99.8%						
人概 工算	① 従事職員数 (正職員 / 非常勤嘱託職員)	0.14 / 0.00	0.26 / 0.00	0.26 / 0.00	0.00 / 0.00	0.00 / 0.00				
	② 概算人件費	1,120		2,080		2,080		0		
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)	9,711		6,857		2,080		0			
主な利用特財 (N-1年度実績値)	特財名称	中心市街地空き家・空き店舗等対策支援事業(きょうと地域連携交付金)		種類	商工費府補助金		2,088		28	頁
		中心市街地空き家・空き店舗等対策支援事業基金繰入			基金繰入金		2,389			
						実績金額				

## IV 業績指標

成果実績 (アウトカム) 実績/目標	指標	単位	R1	R2	R3	R4	最終目標
		新店舗開業数(年)	件	4 / 5	5 / 5	1 / 5	/ 5
活動実績 (アウトプット) 実績/計画	指標	単位	R1	R2	R3	R4	最終目標
	新規登録物件数(年)	件	8 / 10	9 / 10	6 / 10	/ 10	10
	単位あたりコスト		884.5	954.6	796.2		
	新規利用登録者数(年)	人	13 / 20	10 / 20	22 / 20	/ 20	20
	単位あたりコスト		544.3	859.1	217.1		

V 一次評価(事業担当所属内による自己評価)

項目	評価の観点	評価の観点に寄与した取組事項	施策・施策成果指標に対する貢献度
必要性	<ul style="list-style-type: none"> <li>市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か</li> <li>民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か</li> <li>目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か</li> </ul>	まちづくり構想福知山において「空き物件を活用した新規開業や有効な情報発信による集客と回遊促進に対する支援」に該当する事業であり、まちなかにおいて増加する空き家・空き店舗等の活用を促進することは、不良空き家・空き店舗等の増加を防ぎ、景観の維持・改善も通じた住環境の向上によるまちなか居住の推進に繋がるほか、新規開業支援などにより商業振興が図られるなど市民・社会ニーズに合致し、優先度の高い事業である。	<input type="checkbox"/> 高い <input checked="" type="checkbox"/> やや高い <input type="checkbox"/> やや低い <input type="checkbox"/> 低い
効率性	<ul style="list-style-type: none"> <li>受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か</li> <li>他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか</li> <li>コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか</li> </ul>	福知山まちづくり株式会社と連携して事業を実施することで、専門的に取り組む人材を確保し、事業の遂行にあたることができている。駅正面通り商店街での福知山フロント(株)による独自の取組による成果も著しく、スモールエリア毎でのエリアマネジメントによる遊休不動産の流動化の手法についても検討していく必要がある。	
有効性	<ul style="list-style-type: none"> <li>成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか</li> <li>活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか</li> <li>先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか</li> </ul>	空き店舗については、物件の掘り起こしを行い、補助金を活用した新規開業に繋げ、まちなかの商業振興および賑わい創出に繋げることができている。	
定性的な面も含めた自己評価及び現状の課題	中心市街地における空き家・空き店舗等の不動産の流動化を進める上で、新規物件の掘り起こし、福知山まちづくり株式会社による情報発信や空き家を活用したイベント等の開催を通じて、まちなかへの移住や開業に対するニーズを喚起できている。空き家を活用したイベントの実施やストックバンクを活用して開業した店舗を紹介するチラシの作成を行う等、ストックバンク制度の周知及び新規物件と新規利用希望登録者の掘り起こしに努めた。		
改善策	空き家については、登録件数を効果的に伸ばす必要がある。自治会との連携、物件所有者や利用希望者への情報提供や遊休不動産の流動化に向けた啓発を行い、物件登録件数の増加と積極的な利用を促していく。		

VI 二次評価(事業所属外による他部署評価)

事後評価コメント	事業評価実施後に記載(対象事業のみ)
----------	--------------------

VII 評価をふまえた次年度事業方針

担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分	評価を踏まえた見直し内容

VIII 予算反映結果

予算反映結果	<input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 予算拡充 <input type="checkbox"/> 予算縮減 <input type="checkbox"/> 他事業を統合 (統合事業名: ) <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 (統合先事業名: )
--------	--